

# 匠たちの比類なき技術力が、 白生地の上で開花する

【絹物・白生地】  
ITOKO

伊と幸

経済産業省「地域未来牽引企業」選定  
京都市「オスカー認定」企業





# 匠たちの比類なき技術力が、 白生地の上で開花する

【絹物・白生地】  
ITOKO

伊と幸

経済産業省「地域未来牽引企業」選定  
京都市「オスカー認定」企業

## 素材のシルクにこだわり、白生地を追求する

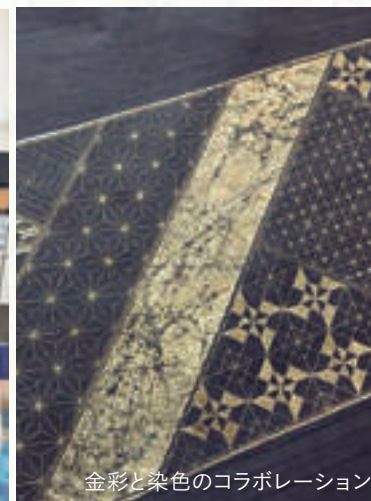
白生地はおよそ200種類、柄は総数3000パターンにも及ぶ。その素材となる絹の品質、ひいては繭の品質にこだわり、国内養蚕農家と契約。山形県庄内地方に伝来した蚕種「松岡姫」からとれる細い糸を使い、しなやかさと光沢、しっかりとした地風を併せ持った白生地を実現した。また、古典紋様からモダンな意匠まで、社内図案家が描き、そのデザインを地紋様へと落とし込むことで、こだわりの逸品へと仕上げている。

## 卓越した匠の技は、「おもてなしの心」の表現

白生地を彩る加工には多くの匠が存在する。白生地の後加工となる染色や金彩の職人である。その手仕事は長きにわたり、互いに高めあいながら継承と発展を繰り返してきた。匠の技は、熱い探究心と丁寧な仕事によって生み出されている。



伝統工芸士 志賀豊氏の最高峰の技術



金彩と染色のコラボレーション



美しい暈しを生み出す手仕事



白生地



蚕の餌となる桑の葉



蚕種「松岡姫」の繭

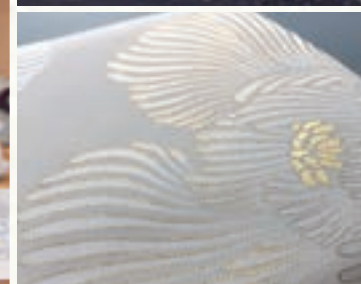


織細な絹糸

## 失われつつある伝統技術の価値を未来へ

合わせガラスの中に絹織物を封入した「絹ガラス」は、半永久的に劣化退色することなく保持することができる。インテリア産業との協働は、サステナブル素材である「絹」の素晴らしさや失われつつある手仕事を新しい価値として次代に繋げる活動であり、伊と幸はこれを使命実現のための一歩と位置付けている。

©2022 Silk Textiles Global Promotion Consortium





## Master Craftmanship 【匠の技】



極細筒描き



伝統工芸士 志賀豊氏



オリジナルの道具で繊細に描く筒描き



真綿箔

## 世界最高峰の金彩技術

極細の繊細な線を描く技法「筒描き」には、特注の真鍮製先金(筒の先端部分)を使用する。道具にもとことんこだわった、唯一無二の仕事といえる。真綿引きから志賀氏が手作りしている真綿箔とは、生地の上に真綿を置き、その上から箔を貼り、その真綿を剥がすことで自然な趣のある箔表現となる。



卓上パーティション



壁面収納扉



キャビネット扉

## 絹の美しさを永遠に伝えるー絹ガラス

絹の美しさ、生糸そのものの美しさは、光を通した時に最も輝いて表現できる。「絹ガラス」は絹の世界を、その可能性や美しさを、インテリアの世界で演出している。

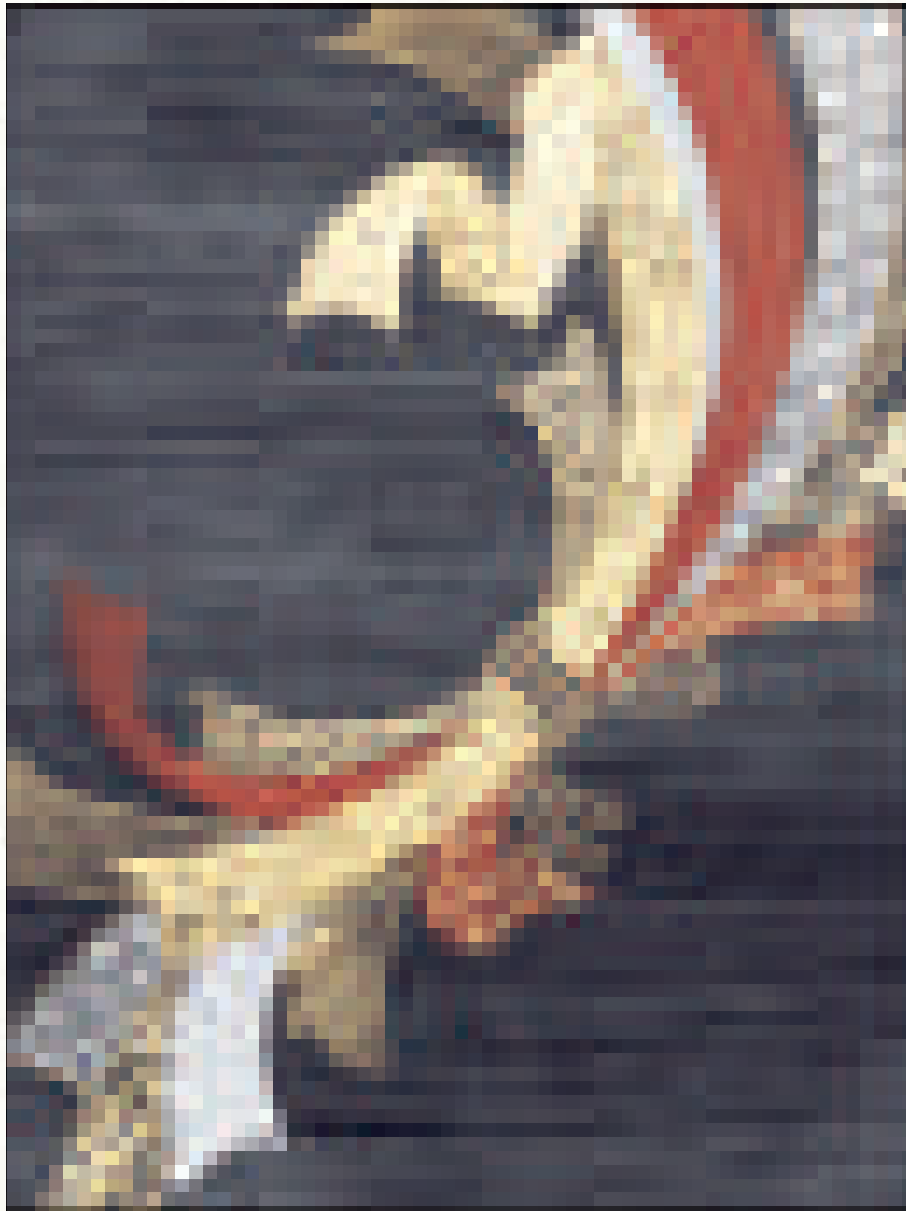


かすみ きぬ

# 霞絹「束ね熨斗(たばねのし)」 古典美の表現と多彩な金彩の技



糸や縫い目まで再現された超高解像度の画像を見ることができます。



伊と幸 / KY-IT01 / 霞絹「束ね熨斗」 / 引き染め、金彩 / 絹 / W1500mm 50%  
黒の引き染め技法で手染めした生地に、吉祥文様である束ね熨斗を様々な金彩加工技術(筒描き・真綿箔・振金砂子など)を用いて描き分けている。匠ならではの技を結集した逸品。

株式会社伊と幸 〒604-8176 京都市中京区御池通室町東入ル竜池町448-2 <https://silkglass.jp>



代表取締役社長  
北川 幸

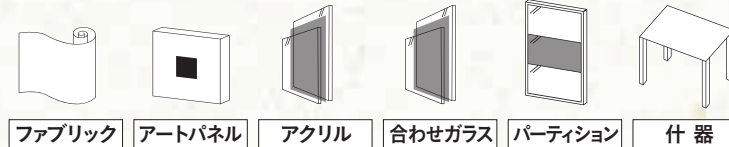


京都の染織事業者の伝統技術や製品へのこだわりを紹介ムービーで見ることができます。



3D VR撮影による京都の染織技術を支える工房の様子を、WEBからバーチャルツアーで体験することができます。

【対応可能な納品形式】 ※詳細は扉ページ裏面を参照ください。



【製品情報ダウンロード】



世界対応のbimobject®ライブラリより各製品のシームレス画像、BIMデータのダウンロードができます。



絹ガラス / ヘッドボード



絹ガラス/コンソールテーブル



絹アクリル/パーティション



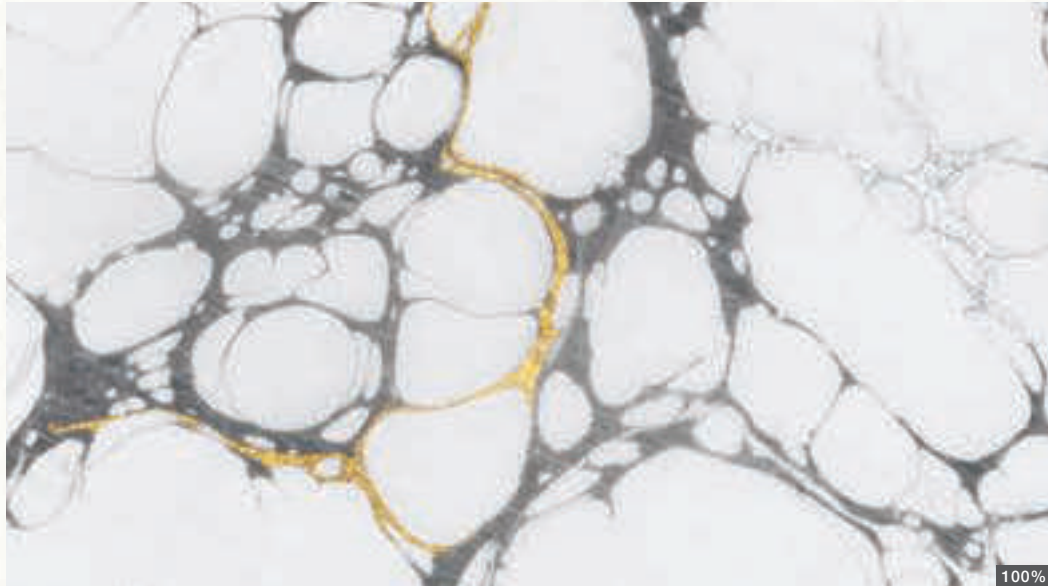
ファブリックパネル



絹障子/シャンデリア

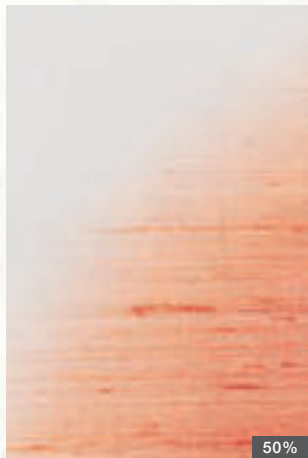


# Meister Collection ITOKO



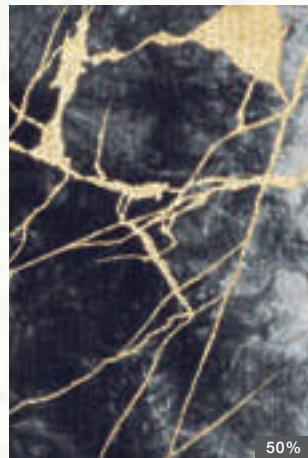
伊と幸 / KY-IT02 / 霞絹-松岡姫 / 平織、墨流し、金彩 / 絹 / W1500mm

霞絹は緯糸に節糸を使用することで、独特の揺らぎや自然な風合いを表現した生地である。節糸には国産繭の「松岡姫」を使用。松岡姫は、上品な光沢感が特徴で、染め上げるとさらに美しい艶感が現れる。「墨流し染め」と「金彩」はいずれも京友禅の技法。揺らめくような墨流しの文様と、それに沿って輝く金彩意匠を掛け合わせた。



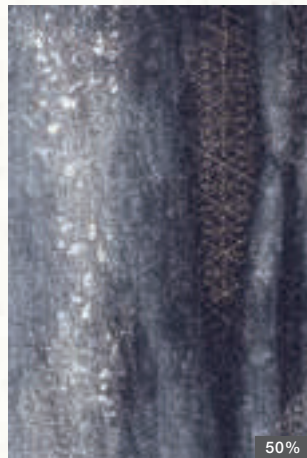
伊と幸 / KY-IT03 / 霞絹-玉糸 / 平織、引き染め / 絹 / W1500mm

霞絹の緯糸には、二頭の蚕が一粒をつくる「玉繭」から製糸した「玉糸」を使用。玉糸にある独特の節が揺らぎのある濃淡と素朴さを生み出している。朱色の暈し染めは、淡い光や抽象的な花のような表情を生んでいる。



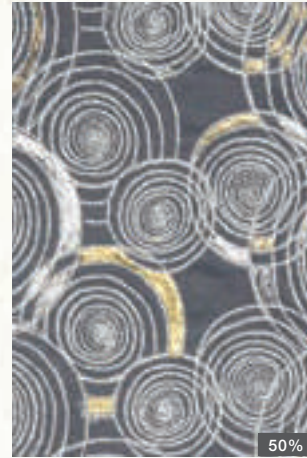
伊と幸 / KY-IT04 / 霞格子「金脈」 / 先練り紋意匠、絞り染め、金彩 / 絹 / W390mm

「霞格子」という小巾の先練り紋意匠の生地を使用。絞り染めの「ムラ染め」技法で大理石の斑紋のような模様を施し、さらに金彩で金脈を描いた。金脈には盛り上げ技法を使った細やかな模様も描き込まれている。



伊と幸 / KY-IT05 / 霞格子「滝」 / 先練り紋意匠、絞り染め、金彩 / 絹 / W390mm

「金脈」と同じ霞格子の生地を「板締め」と呼ばれる絞り染めの技法で染め、流れ落ちる「滝」の水しぶきを金彩で表現した。滝裏の暗い影は、染めの濃淡で表し、金彩の七宝文をあしらっている。



伊と幸 / KY-JY90823 / 渦巻き / 平織、刺繍、金彩 / 絹 / W950mm

薄絹に渦巻き文様の刺繍を施した生地。円が続く様は、永遠や繋がりを連想させ、縁起の良い紋様である。金彩は渦の形を細かく拾い、「縁蓋」を切って箔を置いていく。繊細な加飾で、上品でありながら華やかな意匠へと仕上がっている。



伊と幸 / KY-JY90818 / 大王松菱 / 平織、刺繍 / 絹 / W950mm

薄絹に松葉の刺繍を施した生地。厳しい冬の中でも色褪せない松は「歳寒三友」のひとつにも数えられている。世界一大きな松葉を持つ、雄大な大王松を紋様化し、格式を感じさせる菱の意匠に。



伊と幸 / KY-JY91323 / 麻の葉 / 平織、刺繍 / 絹 / W950mm

薄絹に麻の葉文様の刺繍を施した生地。三角形が集まった六角形で構成されているため、魔除けの意味合いを持つ文様である。また、麻の葉は早く丈夫に育つ植物でもあり、護りと成長の願いが込められた紋様。



伊と幸 / KY-IT06 / 鳳凰羽 / 駒無地 金通し、引き染め、金彩 / 絹 / W390mm

駒無地の金通しに、引き染め技法で黒に染めた生地。鳳凰が羽ばたき去る時のように、優雅で流れのある尾羽の様を金彩で表現している。



伊と幸 / KY-IT07 / 霞絹-松岡姫-「截金寄木細工」 / 平織、金彩 / 絹 / W1500mm

截金のように細い線を組み合わせて寄木細工を金彩で表現。寄木細工はいくつもの柄のパターンを組み合わせ、一つの画面を作り上げるため、飽きのこないデザインとなっている。



伊と幸 / KY-IT08 / 小菊 / 壁紙、金彩 / 絹、和紙 / W940mm

霞絹と同様の薄絹に和紙を裏打ちした絹壁紙に、小菊の群生を金彩で表現した。色味が異なる箔や照りの異なる箔を複数組み合わせることによって、平面の中にも奥行きを生み出している。